

平成23年度 通常 総会 議案書

日時 平成23年4月25日(月)18:00～20:00
会場 飯塚市民交流プラザセミナー室 飯塚市吉原町6-1 アイタウン
出席者 (個人)長谷川徹也、大塚洋一、小野正行、戒田高康、菊川清、高橋宏、
田淵義文、
(団体)嘉麻市(企画調整課長福田正行)、飯塚信用金庫(総合企画課長
内山茂幸)
委任状 (個人)太田勇司、坂山憲治、野見山ミチ子、久門守、日高健、宮嶋玲子
(団体)飯塚市、桂川町、九州電力(株)、(有)しまや、鶴原液化ガス(株)、
日本人類言語学会、龍王ガス(株) (順不同敬称略)
会員26人中 出席9名、委任状提出13名 合計22名

開会挨拶 長谷川会長

議長選任

議事録署名人指名

議案1 平成22年度事業報告(別紙)

議案2 " " 収支決算案(別紙)

議案3 平成23年度事業計画案(別紙)

議案4 " " 収支予算案(別紙)

議案6 その他

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター
平成23年度通常総会議事録

日 時 平成23年4月25日(月)18:00～20:00

会 場 飯塚市民交流プラザセミナー室 飯塚市吉原町6-1 アイタウン

出席者 (個人会員)長谷川徹也、大塚洋一、小野正行、戒田高康、菊川清、高橋宏、田淵義文、

(団体会員)嘉麻市(企画調整課長福田正行)、飯塚信用金庫(総合企画課長内山茂幸)

委任状 (個人会員)太田勇司、坂山憲治、野見山ミチ子、久門守、日高健、宮嶋玲子

(団体会員)飯塚市、桂川町、九州電力(株)、(有)しまや、鶴原液化ガス(株)、日本人類言語学会、龍王ガス(株) (順不同敬称略)

会員26人中 出席9名、委任状提出13名 合計22名・・・3分の2を超えて成立

議長に小野正行氏を選出、議事録署名人に小野議長のほか菊川清、田淵義文氏の2名を選出した後、小野議長のもとに議案の審議を行った。

議案1、平成22年度事業報告

別紙資料に基づき大塚理事長が主要な活動について報告。(別紙活動報告参照)

出席者に諮った結果、異議なく了承された。

議案2、平成22年度収支決算案

別紙に基づき理事長が説明。(別紙収支計算書参照)

深町監事が所用で欠席の為、理事長が代理報告(書面)の後、審議。異議なく承認された。

議案3、平成23年度事業計画案

別紙に基づき理事長が説明。(別紙事業計画案参照)

特に、本年度からは企画・調査研究担当並びに総務担当の役員を置き、理事長の業務の分担・軽減をはかり、調査受託、会員増強などの活動を推進する。また、ホームページを開設し、センターの活動を広報する。

審議の結果、異議なく承認された。

議案4、平成23年度収支予算案

別紙に基づき理事長が説明。新年度は収入(会員増強など)を相当頑張らなければ欠損が増え、活動に支障を来す恐れがあり、調査受託や会員増強などの収入強化活動を推進する必要があると説明。(別紙収支予算案参照)

審議の結果、異議なく承認された。

議案5、新年度役員案

任期満了にともない新役員案を理事長より提案。選考理由について小野議長から説明があった。本年度から、企画・調査研究担当並びに総務担当の役員を指名し、活動の活性化を図ることになった。(別紙新年度役員案参照)

審議の結果、異議なく承認された。

また、新役員は全員就任を承諾した。なお、後日理事会を開催し、理事長などの役職者を互選することになった。

議案6、その他

①筑豊ゼミ25周年事業実行委員会設置について

別紙に基づき、菊川理事が趣旨を説明。別紙記載の事業を筑豊ゼミ第1分科会で議論中。成案が得られた段階で、改めてお諮りしたい。実行委員として、センターから取り敢えず菊川理事が参画する。

異議なく承認された。

②センターのホームページ開設について

菊川理事が趣旨を説明。筑豊ゼミが開設しているホームページの中に、センターのページを設けることが了承されている。情報の内容については、企画・調査研究担当役員の菊川理事の責任のもとに一元化する。菊川理事の承認を得たものしか掲載しない。掲載記事は理事会に事後承認を求める。なお、技術的なケアは戒田監事にお願する。立ち上げの経費は1万円以内で済ませる。

異議なく承認された。

平成23年 月 日

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

議 長 小 野 正 行 印

議事録署名人 菊 川 清 印

議事録署名人 田 淵 義 文 印

平成 22 年度 事業 報告 書

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

NPO 法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

1、事業の成果

本年度は、新規事業として筑豊の古代から未来までを考察する「筑豊学講座」を開設した。「筑豊の語り部」と称される深町純亮氏を講師にした本講座には約 50 名の住民が参加、古代から石炭の発見に至るまでの筑豊の歴史を聴講・質疑を行った。そして、日本の黎明期や文化の形成に対する貢献など筑豊の果たした役割りを再認識した。なお、この講座は次年度も継続開催される。

また、福岡県(企画・地域振興部)が主管する「地域づくりネットワーク福岡県協議会ー筑豊ブロック会議」の直方並びに飯塚開催に積極的な役割りを果たし、筑豊の地域おこし団体との連携と交流を深めた。

更に、福岡県下の地域づくり関係 200 団体によって構成されている「地域づくりネットワーク福岡県協議会」が主催する『ふくおか地域づくりフォーラム』が福岡市で開催され、副会長機関として参画、筑豊ブロックの状況などを報告すると共に県下の関係団体との交流を図った。

その他の事業は実施しなかった。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
地域社会の振興発展に関する情報の収集・提供事業	福岡県下の NPO 団体等が情報の交換をする「ふくおか地域づくりフォーラム」事業の支援と積極的な参画	平成 23 年 3 月 6 日	福岡市博多区石城町 2-1 福岡国際会議場	4 名	福岡県下の会員等約 200 名	8.5
むらおこし・地域づくりに関する普及啓発事業	筑豊地区の地域おこし団体が地域資源を活かしたまちづくりを普及啓発する研修会を支援し、一定の成果をあげた	平成 23 年 1 月 1 日 3 日 及 2 月 17 日	直方市遠賀川水辺館及び飯塚市立岩公民館	3 名	筑豊地区会員等約 30 名	2.2

地域社会の振興 発展に関する調 査・研究	筑豊地区の歴史を学び、将来 の地域のあり方を考察する 「筑豊学講座」の開設・実施 嘉飯地区の地域資源の活用方 策の調査研究	平成22 年9月以 降隔月開 催	飯塚市飯塚 イイツカコミ ュニティセン ター 飯塚市、 嘉麻市、 桂川町	3 名 1名	筑豊地区住 民(参加者約 50名) 嘉飯地区 住民	2, 0 9 4
----------------------------	---	---------------------------	--	------------------	---	-------------

(2)その他の事業

物品及び食品 販売事業	実施しなかった					
----------------	---------	--	--	--	--	--

平成22年度活動報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

日 時 平成22年4月28日(木)14:00～
会 場 福岡県飯塚総合庁舎 別棟会議室 飯塚市新立岩8-1
テーマ 嘉飯都市圏活性化推進会議 第1回幹事会
内 容 ①平成21年度事業実績・収支決算
②平成22年度事業計画案・収支予算案
出席者 顧問菊川理事、幹事大塚理事長

日 時 平成22年5月15日(土)11:45～
会 場 深町監事宅 飯塚市柏の森813
内 容 平成21年度会計監査 深町監事 大塚理事長

日 時 平成22年5月18日(火)18:00～19:30
会 場 飯塚市民交流プラザ 飯塚市吉原町6-1 アイタウン
内 容 平成22年度第1回理事会
・平成21年度事業報告案、同収支決算案
・同 22年度事業計画案、同収支予算案
・新役員案

日 時 平成22年5月18日(火)19:30～21:00
会 場 飯塚市民交流プラザ 飯塚市吉原町6-1 アイタウン
内 容 平成22年度通常総会
・平成21年度事業報告案、同収支決算案
・同 22年度事業計画案、同収支予算案
・新役員案

日 時 平成22年5月25日(火)10:30～
会 場 飯塚市民交流プラザ 飯塚市吉原町6-1 アイタウン
内 容 筑豊ゼミについて坂山事務局長と懇談
出席者 大塚理事長、菊川理事

日 時 平成22年6月29日(火)17:00～

会 場 寿会館 飯塚市
内 容 菊川理事 近畿大学退職記念謝恩会
参加者 齊藤飯塚市長、松岡嘉麻市長など40名参加

日 時 平成22年7月21日(水)13:00～
会 場 麻生書庫 飯塚市柏の森
内 容 「筑豊学講座」について深町純亮氏と打合せ
大塚理事長、菊川理事

日 時 平成22年9月3日(金)18:00～
会 場 イイツカコミュニティセンター3階セミナー室 飯塚市飯塚14-67
テーマ 第1回筑豊学講座
内 容 序 章「筑豊」の語源と地理的概念
第1章日本の夜明けは筑豊から
講 師 深町純亮氏
参加者 約40名

日 時 平成22年9月19日(日)11:00～
会 場 天神中央公園 福岡市中央区天神1丁目
内 容 福岡県主催筑豊フェア視察
参加者 大塚理事長、戒田理事、田淵理事

日 時 平成22年10月18日(月)15:00～
会 場 飯塚総合庁舎 別棟会議室
テーマ 嘉飯都市圏活性化推進会議 第2回幹事会
内 容 次期プロジェクトの検討
出席者 顧問菊川理事、幹事大塚理事長

日 時 平成22年10月20日(水)10:30～
会 場 福岡県庁 10階特1会議室 福岡市博多区東公園7-7
テーマ 地域おこしネットワーク福岡県協議会
内 容 ①平成21年度事業報告
②平成22年度事業計画(全体研修会等)
③協議会の幹事就任について
出席者 大塚理事長

日 時 平成22年11月8日(月)13:30～
会 場 飯塚市役所201会議室 飯塚市新立岩5-5
テーマ 嘉飯都市圏活性化推進会議 遠賀川活用プロジェクト・遠賀川絵画・写真審査会
内 容 第1回遠賀川スケッチコンクールの作品審査
同 遠賀川の景観写真コンテストの作品審査
出席者 顧問菊川理事、幹事大塚理事長

日 時 平成22年11月12日(金)18:00～
会 場 イイツカコミュニティセンター 飯塚市飯塚14-67
テーマ 第2回筑豊学講座
内 容 第2章 筑豊の神話
第3章 古代官道と行き交う万葉びと
講 師 深町純亮氏
参加者 約40名

日 時 平成22年11月20日(土)13:30～
会 場 飯塚市穂波福祉総合センター 飯塚市枝国402
テーマ 嘉飯都市圏活性化推進会議 遠賀川交流会
内 容 スケッチ・写真コンテスト入賞者表彰
報 告 遠賀川花のさとづくりについて
基調講演 「花の植栽を通じたまちづくり、ひとづくり」
新戸芝ざくら管理委員会(神奈川県相模原市)
会長 児玉高典氏
分科会A:遠賀川花のさとづくりを通して
B:遠賀川の日本史
C:遠賀川流域の環境・景観を守り活用する取組み
参加者 菊川理事(賞状授与)、藤江理事(分科会Aのパネリスト)
大塚理事長、田淵理事

日 時 平成22年12月10日(火)18:00～19:30
会 場 飯塚市民交流プラザ 飯塚市吉原町6-1 アイタウン
内 容 平成22年度第2回理事会
・平成21年度事業報告案、同収支決算案(中間報告)
・同 22年度事業計画案、同収支予算案(同上)
・新役員案について(意見交換)

日 時 平成23年1月13日(木)18:00～
会 場 遠賀川水辺館 直方市溝堀1-1-10
テーマ 地域づくりネットワーク福岡県協議会 筑豊ブロック会議
内 容 ・筑豊ブロック会議会長選出
・加盟団体の活動PR・・・団体の連携、交流の可能性を探る
・ 全体意見交換
出席者 大塚理事長、菊川・田淵理事

日 時 平成23年1月14日(金)18:00～
会 場 イイツカコミュニティセンター 飯塚市飯塚14-67
テーマ 第3回筑豊学講座
内 容 第4章 中世の学園都市飯塚
第5章 文明のシルクロード
講 師 深町純亮氏
参加者 約40名

日 時 平成23年1月27日(木)13:00～
会 場 福岡県立大学 田川市伊田4395
テーマ 田川地域の観光を考えるシンポジウム
内 容 基調講演 新しい旅のカタチと観光まちづくり
(株)ジェイティービー常務取締役清水慎一氏
パネルディスカッション 県立大学森山教授ほか
参加者 大塚理事長、小野・菊川・戒田・田淵理事

日 時 平成23年2月17日(木)18:00～
会 場 飯塚市立岩公民館
テーマ 地域づくりネットワーク福岡県協議会 筑豊ブロック会議
内 容 ・全体討議・・・団体の連携、エリアを越えた連携の可能性
・ グループ討議
出席者 大塚理事長、菊川・田淵理事

日 時 平成23年2月27日(日)11:00～
会 場 飯塚コスモスコモン 飯塚市飯塚14-66
テーマ 嘉飯デザートラボオープニングイベント

日 時 平成23年2月27日(日)11:00～
会 場 飯塚コスモスコモン 飯塚市飯塚14-66
テーマ 「KAHANライス(仮称)発表会
同上飯塚市長等による試食会
参加者 大塚理事長

日 時 平成23年3月6日(日) 13:00～
会 場 福岡国際会議場 福岡市博多区石城町2-1
テーマ ふくおか地域づくりフォーラム
～これからの連携について～
内 容 第3回「ふくおか地域づくり活動賞」表彰式
グランプリ受賞団体 「筑後川まるごと博物館運営委員会」
基調講演 活気を生み出す ガーデンデザイナー阿部容子氏
5ブロックから活動状況をそれぞれ報告
パネルディスカッション
かたくり工房 阿部容子氏
循環生活研究所理事 たいら由以子氏
北九州インタープリテーション研究会代表 原賀いずみ氏
コーディネーター (株)まちづくり計画研究所代表取締役 今泉重敏氏
名刺交換会(交流会)
参加者 大塚理事長、小野・菊川・田淵理事

日 時 平成23年3月11日(金)18:00～
会 場 イイツカコミュニティセンター 飯塚市飯塚14-67
テーマ 第4回筑豊学講座
内 容 第6章 「燃ゆる石」の発見
第7章 筑豊の文明開化は石炭から
講 師 深町純亮氏
参加者 約40名

平成22年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収入の部		
1 会費収入		
個人会費	167,500	
団体会費	90,000	257,500
2 事業収入		
①情報の収集・提供事業収入	0	
②普及啓発事業収入	0	
③調査・研究事業収入	2,094,400	2,094,400
3 寄付金収入	0	0
4 雑収入		
①預金金利	173	
②その他	5,323	5,496
経常収入合計		2,357,396
II 経常支出の部		
1 事業費		
①情報の収集・提供事業	8,530	
②普及啓発事業	2,200	
③調査・研究事業	1,906,024	1,916,754
2 管理費		
①給料手当	0	
②印刷費	700	
③通信運搬費	39,237	
④消耗品費	5,053	
⑤雑費	56,251	101,241
経常支出合計		2,017,995
経常収支差額		339,401
III その他資金収入の部		
1 その他の事業会計からの繰入	0	0
その他資金収入の部合計		0
IV その他資金支出の部		
1 予備費	0	0
その他資金支出合計		0
当期収支差額		339,401
前期繰越収支差額		530,086
次期繰越収支差額		869,487

平成 2 3 年 度 事 業 計 画 書(案)

平成 2 3 年 4 月 1 日 から平成 2 4 年 3 月 3 1 日 まで

N P O 法 人 住 学 協 同 機 構 筑 豊 地 域 づ くり セ ン タ ー

1、事業実施の方針

平成 2 3 年度は、前年度に引き続き多様な観点から筑豊の実態を正しく認識し、課題を発掘する事業を推進したい。その一つとして筑豊を総合的に研修する『筑豊学講座』を継続実施するとともに、域内の自治体首長を初めとする有識者からのヒヤリングを行い筑豊のもつ可能性の再発見に努める。あわせて域内の地域おこし団体との交流を強化し、課題の共有化を進めるとともに解決を目指したい。

また、「交通弱者調査(略称)」、「嘉飯地域活性化調査(同)」等の調査を受託した経験をいかして調査受託活動も積極的に進める。

さらに、本年度はホームページを開設し、センターの活動をはじめ主要な地域情報の積極的な発信をしたい。

そして、これらの事業を推進するために、活動体制の再編・強化を図りたい。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
地域社会の振興発展に関する情報の収集・提供事業	筑豊を様々な角度から取り上げ、地域住民と共に筑豊の資源再発見に努める ホームページの開設	年 4 回	筑豊地区内	3 名	筑豊地区の地域おこし関係者など 3 0 名 (1 回平均) 福岡県下、九州、全国	2 0 0
むらおこし・地域づくりに関する普及啓発事業	地域づくり団体間の交流強化並びにネットワークの推進	年 2 回	筑豊地区内	3 名	筑豊地区の地域おこし団体関係者など 5 0 名	5 0
地域社会の振興発展に関する調査・研究事業	大学との協同による調査の受託を推進する 筑豊学講座の開催継続	随時	筑豊地区内	4 名	筑豊地区の住民、自治体職員など	3 0 0

(2) その他の事業

物品及び食品販売事業						
------------	--	--	--	--	--	--

平成23年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書(案)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収入の部		
1 会費収入		
個人会費	100,000	
団体会費	150,000	250,000
2 事業収入		
①情報の収集・提供事業収入	0	
②普及啓発事業収入	0	
③調査・研究事業収入	100,000	100,000
経常収入合計		350,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
情報の収集・提供事業	200,000	
普及啓発事業	50,000	
調査・研究事業	300,000	550,000
2 管理費		
事務費	120,000	
人件費	60,000	180,000
経常支出合計		730,000
経常収支差額		▲380,000
III その他資金収入の部		
1 その他の事業会計からの繰入	0	0
2 前年度調査からの繰入	0	0
その他資金収入の部合計		0
IV その他資金支出の部		
1 予備費	0	0
その他資金支出合計		0
当期収支差額		▲380,000
前期繰越収支差額		869,487
次期繰越収支差額		489,487